



〒584-0078
大阪府富田林市加太 2-7-7
TEL/FAX:072-368-3135
E-mail: user@ut-net.jp https://ut-net.jp

令和6年10月31日発行(第270号) 毎月5日発行(特別号)
年間購読料 6,000円 発行所 株式会社ユーザー通信社 発行人 植村和人

国内のモノづくり現場では、労働力人口の減少に対応する自動化・省力化ニーズを背景に、

使用することによる生産性

南展示棟に特別併催展「AMエリア」

ユーザー通信オンライン
https://ut-net.jp

紙面掲載以外の
記事はこちらで!



MEASUREMENT PRIDE

精密測定機器

UNO 宇野株式会社

URL http://www.uno.co.jp/

世界最大級の工作機械見本市のひとつ「JIMTOF 2024」(第32

11月5日(火)～10日(日)の6日間、東京ビッグサイト全館

過去最大規模の1262社・5743小間

製造業界の「魅力・やりがい・面白さ」アップと若年層への認知度向上を図る

『JIMTOF 2024』開幕!
キービジュアルは「技術のタスキで未来へつなぐ」



▲前回「JIMTOF2022」のワンシーン。常時混雑する渡り廊下を挟み東館・西館のようす。6日間で11万4,158人が来場した

向上や効率化のサービスを提供する動きが広がっている。

具体的には、機械特性をデジタル上で再現し工

製造プロセスに切り替わるなど、市場の裾野が広がっている。そんな中、今回の南展示棟では、特別併催展として「AMエリ

また、今展では「製造業界の魅力・やりがい・面白さ」をアピールし、業界のイメージアップと若

年層への認知度向上を図るため、来場者向けの様々なコンテンツを拡充している。すでに、YouTubeにて「JIMTOF INSIGHTS」を公開して

おり、会期中には、会場での企画展示と連動する形で新たな動画コンテンツを配信するほか、会期後にも、モノづくり業界に関する情報を長期的・継続的に更新する。

お客様の満足と生産性向上を目指し
最適な商品サービスをご提案します。

代理店・精肉店

京セラ MOLDINO イスカル オーエスジー 住友電気工業 不二越 サンドビック 日研工作所 三菱マテリアル 東洋電機製作所 テグテック ダイジエット 秋田工具 ワルター



株式会社 タケダキカイ

京都営業所 ☎075-661-1811 FAX.075-661-1824
徳島営業所 ☎0749-26-1801 FAX.0749-26-1803
松山営業所 ☎072-849-1888 FAX.072-849-1808
愛媛営業所 ☎077-552-7361 FAX.077-552-7371
岐阜営業所 ☎0584-77-5347 FAX.0584-77-5348
三重営業所 ☎0595-26-2730 FAX.0595-26-2731
新潟営業所 ☎06-4950-0416 FAX.06-4950-0417
北陸営業所 ☎0761-24-0991 FAX.0761-24-0992

JIMTOF 2024



JIMTOF 2024
特設サイトはこちら

2024年11月5日(火)～11月10日(日)

東京ビッグサイト ▶ 東8ホール 10:00～18:00*

▶ 南1ホール 9:00～17:00*

*最終日は16:00まで

MX
MACHINING
TRANSFORMATION

同時展示

TAIYO KOKI

DMG MORI
PRECISION BORING

Magnescale

TECHNIUM

walc

T Project

超空間精度研究所

東京グローバルヘッドクォータ
東京テクノロジーウィーク

- ・世界初出展のNLX 2500 2nd Generationも展示
- ・最新の5軸加工機、複合加工機で実演加工
- ・来場登録が必要です。
ご来場希望の方は担当営業へお問合せください。

DMG MORI MX MACHINING TRANSFORMATION



日本初出展の工程集約機による高効率加工

- ・NLX 2500 2nd Generation with MATRIS Light (世界初出展)
- ・INH 63 with AMR 2000
- ・DMU 65 monoBLOCK 2nd Generation with PH Cell 500
- ・LASERTEC 30 SLM 3rd Generation (南1ホールにて展示)
- ・LASERTEC 3000 | 3000 DED hybrid (世界初出展)
- ・NMV 5000 Gear Production with WH-AMR 10 (世界初出展)

DMG森精機株式会社

グローバル本社: 東京都江東区潮見2丁目3-23 第二本社: 奈良商品開発センター: 奈良県奈良市三条本町2-1

DMG MORI

www.dmgmori.co.jp

やっかいなのよ

山善 身近なくらしを支える
山善 世界のものをづくり支える
でも 知らなくても生きていける
そこがやっかいなのよ



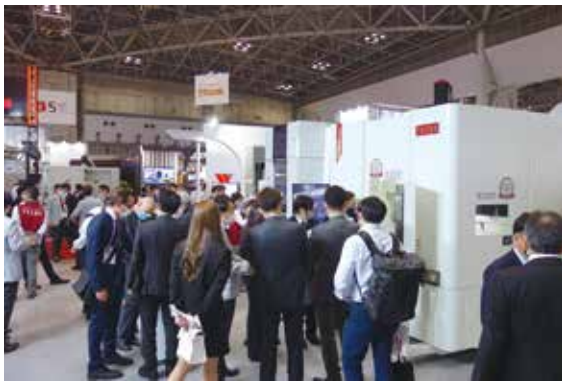
▲通勤や通学時に見られる歌詞カード型看板

歌詞カード型の看板には、タイトル『やっかいなのよ』というタイトルが大きく表示されている。歌詞には、「住設機器・家庭用機器と「工作機械／工具・産業機器」の2つの主要事業領域で、くらしとものづくり

山善(本社)大阪市西区、岸田貢司社長)は4月中旬から、山善オリジナルソング『やっかいなのよ』の歌詞カードを模し集めている。

関西の主要空港・駅でPR 山善オリジナルソング 『やっかいなのよ』

スキルフリーな段取りシステム紹介を企画展示



▲前回JIMTOF2022でのブースのようす。手前が今回も出品する「YBM640V Ver.V」

「Beyond the future with YASDA A:YASDAで未来を超える」をスローガンに掲げ、特に、国内製造業が直面する労働力不足と国際競争力の維持という課題に対応するため、精密金型や部品加工に焦点を当て、極めて少ない熱変位と圧倒的なリピー

JIMTOF2024 安田工業

精密金型・部品加工に最高のパフォーマンス発揮する4機種出展

安田工業(本社)岡山県浅口市里庄町、安田拓人社長)はJIMTOF2024で、誰でも簡単に高精度加工を再現できる自動化展示を中心に、精度や品質を重視しつつ、デジタル技術を活用した最新マシンとソリューションを展示、提案する。

「Beyond the future with YASDA A:YASDAで未来を超える」をスローガンに掲げ、特に、国内製造業が直面する労働力不足と国際競争力の維持という課題に対応するため、精密金型や部品加工に焦点を当て、極めて少ない熱変位と圧倒的なリピー

タビリティを実現し、安定した自動化技術に加え、熟練オペレーターでなくても容易に操作できる充実した計測ソフトウェア、プレゼンテーションを通してアピールする。今回の出展機種は、精密金型加工と部品加工で最高のパフォーマンスを発揮する4機。

「YBM Vi50」は、冷間鍛造金型やアルミダイキャスト金型、航空機部品、半導体製造装置部品など大型ワークの高精度加工に対応する5軸マシニングセンタで、最大重量500kgまでワークを搭載可能。今回の展示では、AWCとの連携による高精度5軸部品加工の自動化を実演する。主に北米や欧米で展開する「PX30i」は、323本マガジン、33面パレットプールを標準搭載

作所(美濃市、関市、土岐市)専用に、中部電力ミライズ(神谷泰範社長)が提供する営農型のオフサイトPPAサービスの運用を開始した。今回の営農型オフサイトPPAは、自社敷地外にある農地に発電事業者側が同社専用の太陽光発電所を開発し、当該発電所で発電した「電気」と環境価値の両方を日本トムソンに提供、農地を利用したソーラーシェアリングのスキームになり、土地提供した営農事業者は、売電による収益を得られる。また、日本トムソンは、太陽光発電所の下で栽培予定である原木しいたけの一部を買い取り、岐阜製作所の食堂で従業員に提供すること、農業経営への支援にも貢献していく。

安田工業では、グローバル市場の動向を踏まえ、各地域のニーズに合わせた戦略を展開する中、国内外で安定したシェアを維持し、特に海外市場では50%以上の売上げを占める。中長期販売戦略においては、今後も成長産業に対応した製品展開の強化、カスタマイズ対応を強化していく方針で、世界中のユーザーの生産性向上に寄与するマシンを提供していく。

営農型オフサイトPPAサービスの運用開始

日本トムソン

日本トムソン(本社)東京都港区宮地茂樹社長は、8月7日より国内生産拠点である岐阜製

を支援する企業ながら、その事業内容はあまり知られていないという同社の「ジレンマ」を反映しており、「少しでも多くの人に山善の事業を知って

もらいたいという思いで、歌詞カード型看板を展開したという。また、大阪国際空港の看板では、二次元コードを読み取ることで、You

Tubeの「YAMAZENチャンネル」にアクセスし、演歌歌手の滝さゆりさんのWEBムービーを視聴することができる。

ユーザー通信オンライン
<https://ut-net.jp>

紙面掲載以外の
記事はこちらで!



Beyond the future with **YASDA** で未来を超える。

YASDAだからできる、高精度加工の自動化。

人手不足、技術継承、人件費・原材料費の高騰、企業の抱える問題は山積みです。YASDAの技術と今回提案するソリューションで、問題解決の手助けになればと思います。

YASDA CNC JIGBORER

YBMvi50

高精度大型5軸加工自動化システム



95TH
ANNIVERSARY
YASDA PRECISION TOOLS K.K.

JIMTOF2024

第32回日本国際工作機械見本市

東5ホール E5013

安田工業株式会社

国内営業所 ●関東営業所 ●名古屋営業所 ●大阪営業所
●長野営業所 ●仙台営業所

本社・工場 〒719-0303 岡山県浅口市里庄町浜中1160
TEL.0865-64-2511 (代) FAX.0865-64-4535

www.yasda.co.jp



ツーリングコンシェルジュ・清水浩の『工具需要の視点』特別編 ④④

ものづくり伝承

『ライナーノーツ』



『各種リーマ刃型』〈解説其の二〉

ボーリング加工は日本独特の
ツーリングと考える

④は世界各国のユーザーで採用されていたM社製の特殊リーマです。切削加工に関与する技術者はその存在を十分承知されていますが、あらためて認識いただければと思います。

本体に1枚の焼結DIAブレードをテーパ付き駒で固定する構造ですが、エンジン部品のアルミ材において、高い精度を要求される内径加工に採用しました。

私が担当したリーマは全長400mm以上を要するため重量で先端が下がるので、設備メーカーの技術力とユーザー作業者の高度な技能が要求されるツーリングでした。最も重要な機種に採用した際、作業者の不注意で治具に接触させて変形、日本の工具メーカーに修正を求めましたが不可能でした。

メーカーの修正には1年ほどの納期を要求され、改修は新作より難しいことも理解しました。やむを得ず、メーカーの許可を得て実用新案を超えない範囲で、1週間内で国内対応いただいた記憶があります。

この加工箇所に対する各自動車メーカーは、長期間ボーリングで対応していました（現在も）が、約6本のバイトを取り付けるので外径寸法のセッティングに30分以上を要する課題があるために、その改善策の一つとしてこの形状（1枚の切れ刃のみ）が開発されたと考えられます。

しかしボーリング加工は、現在でも日本独特

のツーリングではないでしょうか。例えば、乗用車エンジンのカムシャフト穴はおよそφ30ですが、ボーリングバイトはφ5～φ6が使われ、バイト固定ねじとバイト高さの調整ねじもM5でしょうか。

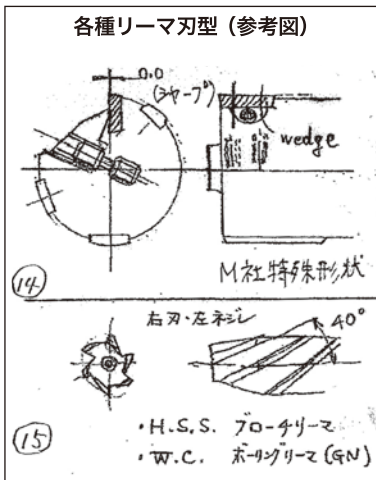
両者のねじの締め付け力は両手を使いながら微動調整なので、バランスが取れないと5μmは容易に浮動します。要求精度は2～3μmですので、バイト刃先を調整するには馬乗りゲージと称する器具が必要ですが、ポイントになるので次回以降に説明します。

⑤は先端にやや長い傾斜を持ち、右回転ながら強い左振れでした。メーカーは伏せますが、ハイス材はブローチリーマーと称し、超硬製はボーリングリーマと命名されていました。

左振れのため切削抵抗が小さく、先端の傾斜によって取り代は漸減していくので面粗さは極端に美しい面が得られましたが、加工内径が早い段階で縮小する傾向があり、それは弱点でした。

ボーリングリーマなどを含み、切削工具に限らず設計によって結果は顕著に表れるものです。効果もあれば欠点もあることを経験、他人の説明、技術書を通じて事前に理解しなければなりません。（続く）

〈清水浩〉



工作機械とコンプレッサが融合したカーボンニュートラルの事例をアピール

JIMTOF2024
三井精機工業

▲新しくなった Zgaiard X シリーズのコンプレッサ「ZV15AX3-R」

三井精機工業はJIMTOF2024で、新製品となる工作機械2台とコンプレッサ1台を展示し、工作機械とコンプレッサが融合したカーボンニュートラルの事例を通じて、工場での環境対策を提案する。

最大のストロークとワック積載質量もつ大型横形MC

それぞれの特長を概観すれば、横形マシングセンタの中でも最大ク

ラスのストロークとワック積載質量を兼ね備えた大型マシン「HPX150」は、最大のストローク（X軸3000×Y軸2000×Z軸1600×W軸（クイル）500mm）と、最大積載質量15t、最大ワックサイズφ2800×H2000mmの大型マシンで、航空機、建機、半導体製造装置、発電、産業機械、工作機械などの大型部品の高精度加工を実現する。会場では全体をカバーなしで展示する予定。

丸穴加工の真円度・円筒度が飛躍的に向上したジグ研削盤

また、高精度ジグ研削盤「J350G II」は、J350Gの広範囲なU字ストロークは継承し、砥石交換することなく径の異なる穴の自動加工が可能。ヘッド構造を一新したことで丸穴加工において真円度0.5μm・円筒度1μm以下を達成しており、砥石切込み系の剛性を向上したところ。

【小間番号E3033】

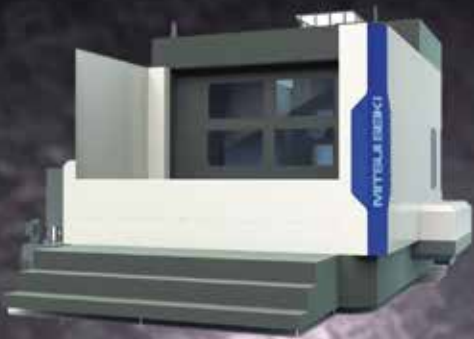
とで、従来比でスパークアウト回数を削減できるため加工時間の短縮を可能としたほか、ATC、インプロセスAMCSなどの自動化機能も充実している。

そして、オイル式インバートコンプレッサ「ZV15AX3-R」は、最新の加工技術と構造解析により独自の圧縮機構「スクリー」の最高性能を追求し、業界No.1の吐出空気量を実現している。

MITSUI SEIKI

<https://www.mitsuseiki.co.jp>本社工場：〒350-0193 埼玉県比企郡川島町八幡6-13 TEL:049-297-5555（代表）
営業所：東日本営業所、名古屋営業所、浜松出張所、西日本営業所

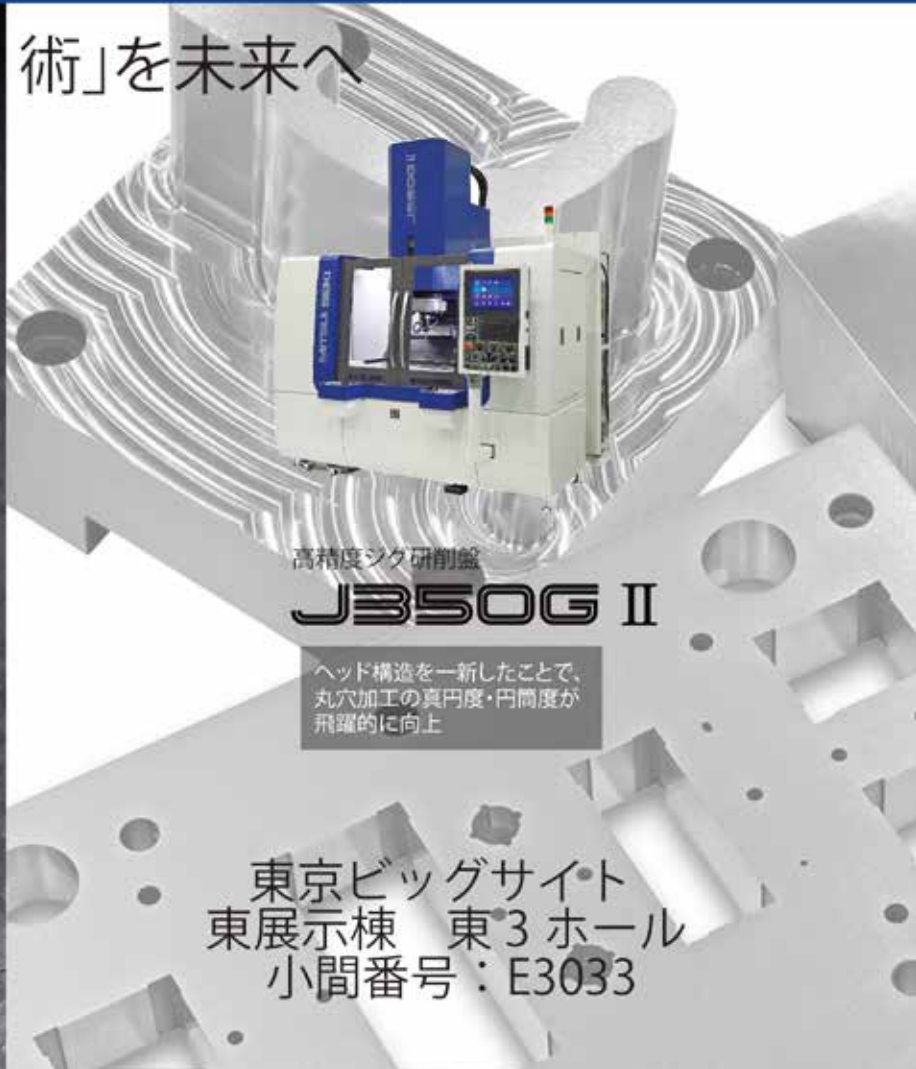
「人」と「技術」を未来へ



大型高精度横形マシングセンタ

HPX150

徹底したつくり込みによるクラス最高精度とクラス最大ストロークと積載質量を兼ね備えた大型マシン

JIMTOF
2024
2024年11月5日（火）→11月10日（日）

高精度ジグ研削盤

J350G II

ヘッド構造を一新したことで、丸穴加工の真円度・円筒度が飛躍的に向上

東京ビッグサイト
東展示棟 東3ホール
小間番号：E3033

山善、中国・福建省に産教融合技術交流拠点設立



▲9月24日開所式の様子

山善(本社＝大阪市西淀川区、岸田貢司社長)の海外子会社「山善(深圳)貿易有限公司(山善深圳)」は9月24日、中国の福建省化油器(キャブレター)工業協会および福建省福鼎職業中等専門学校の提携し、福建省福鼎市内に「産教融合技術交流センター」を設立した。

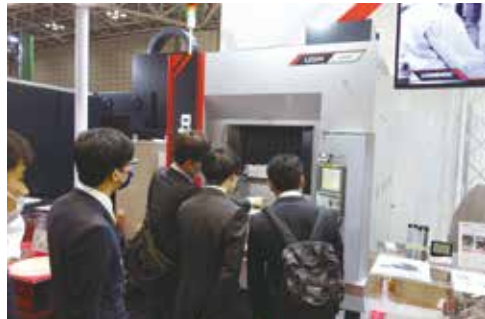
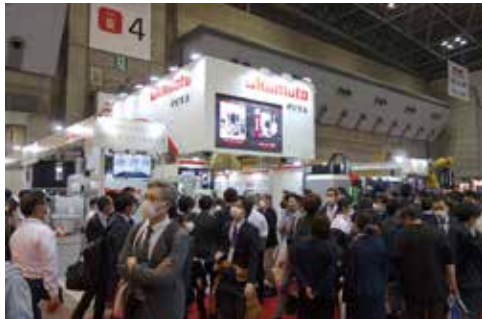
同市は、キャブレターおよび部品製造業296社が事業活動を展開しており、総生産額は約70億元と世界有数のキャブレターの生産地であり、山善深圳では、同省周辺エリアの市場開拓に注力し、プライベートショーやエンジニアリング力を活かした技術セミナー等の開催を重ねている。

そんな中、製造業への知識・ノウハウが評価され、協会より技術支援・教育等を目的とした「産教融合技術交流センター」設立への支援要請を受け、産官学の連携による地域経済の発展を目指す目的を共有し、設立が実現した。

山善深圳は今回の提携を契機に、福建省周辺エリアでの取引拡大および新規顧客獲得に注力し、2026年度には同エリアでの売上20億円を目指す。さらに将来的には、製造業者の技術・開発能力向上や同社への採用も視野に入れたエンジニア育成などを通して、地域経済の発展に寄与する方針を示す。

「脆性材加工」「サステイナブルな社会の実現」などテーマに8機種展示

▶前回JIMTOF2022出展時の「UGM64G」(※右写真と賑わうブース前のような様子)



このうち、昨今の研削加工現場で期待されるEV製造と半導体製造装置に欠かすことのできない「脆性材加工」の需要に応える機械をピックアップし、特長や実演内容等について紹介する。

CNC超精密密閉形平面研削盤「UPG208CHLi2」は、左右と前後軸に油静圧スライド・リニアモータ駆動を採用。独自の6面拘束スライド方式を採用し、非接触と浮き上がりの均一化により、μmオーダーの平面度と面粗度を実現する。

脆性材加工に特化したグラインディングセンタ「UGM64G」は、回転テーブルを含む4軸構造で、粉塵や加工液による摺動面へのダメージを軽減すべく、摺動面を機械上部に設計している。

また同社では、ものづくりにもSDGsが求められる現在、研削盤の製造開発にも自動化・省エネ・省人化などが重要視されていることから、「サステイナブルな社会の実現」をテーマとし、展示に臨む。

岡本工作機械製作所(本社＝群馬県安中市、石井常路社長)はJIMTOF2024で、塗工装置部品を加工する超精密密閉形研削盤、レンズ金型向けの超精密平面研削盤、脆性材加工に特化したロボット対応したグラインディングセンタ、省エネ・省人化オプション搭載の精密平面研削盤など、計8機種を展示し、未来のものづくりへつながる製品、加工技術を提案する。

EV製造におけるモータコアの積層金型やバッテリー塗工でのスロットダイの超精密加工の実績が豊富であり、ブースでは、スロットダイの展示とストレッチの真直度測定デモンストレーションを行う。

厚み計測ができ工程集約に貢献する。さらに計測数値の算出により、としいの当て込みの自動化が可能となった。新機能として、別端末で加工状況の確認ができる「遠隔監視システム」と、待機電力を削減する「省エネモード」を初公開する。

今回の助成総額は2373万円で、研究助成の10名への助成額は総額200万円。国際交流助成は「渡航」助成(第1期6件、第2期5件)および「会議」助成(2件)を対象に総額373万円を助成する。

今年度助成は23件・総額2373万円

三豊科技振興財団

ユーザー通信オンライン
<https://ut-net.jp>

紙面掲載以外の
記事はこちらで!



JIMTOF2024

2024年11月5日(金)～11月10日(水)
東京都江崎ビル(東京都品川区)

Okamoto

研削革命

GRINDING INNOVATION 2024

展示技術

超精密・鏡面

機上計測

脆性材

自動化・高効率・複合

TOTAL GRINDING SOLUTIONS

研削盤の総合提案

岡本工作機械製作所が総合砥粒加工機メーカーとしての技術を結集。
EVのコア技術や半導体向け脆性材加工に向けての新提案を是非ご覧ください。



展示製品

①CNC超精密密閉形平面研削盤
UPG208CHLi2

②CNC超精密平面研削盤
UPG64CA-Li

③CNC精密平面研削盤
PSG157CA-iQ

④精密平面研削盤
PSG52SA1

⑤立軸ロータリー平面研削盤
VRG10DX

⑥グラインディングセンタ
UGM64GC

⑦CNC超精密成形研削盤
UPZ210Li2

⑧精密内面研削盤
IGM15NCⅢ-2B

Okamoto
株式会社 岡本工作機械製作所
<https://www.okamoto.co.jp>

DMG森精機（グローバル本社）東京江東区、森雅彦社長では、工程集約、自動化を通じたGX（グリーン・トランスフォーメーション）を実現し、その一連の流れをDX（デジタル・トランスフォーメーション）で加速する、工作機械を中心とした製造プロセスの変革をMX（マシニング・トランスフォーメーション）と提唱している。

JIMTOF2024では、東京ビッグサイト・東8ホールに最大ブースを確保し、会場での進化の成果を披露・提案する。

刃物台は、パワフルなミリング能力のBMTを搭載し、従来はマシン

場（東ホール）では、太陽

DMG森精機（グローバル本社）東京江東区、森雅彦社長では、工程集約、自動化を通じたGX（グリーン・トランスフォーメーション）を実現し、その一連の流れをDX（デジタル・トランスフォーメーション）で加速する、工作機械を中心とした製造プロセスの変革をMX（マシニング・トランスフォーメーション）と提唱している。

JIMTOF2024では、東京ビッグサイト・東8ホールに最大ブースを確保し、会場での進化の成果を披露・提案する。

刃物台は、パワフルなミリング能力のBMTを搭載し、従来はマシン

場（東ホール）では、太陽

DMG森精機（グローバル本社）東京江東区、森雅彦社長では、工程集約、自動化を通じたGX（グリーン・トランスフォーメーション）を実現し、その一連の流れをDX（デジタル・トランスフォーメーション）で加速する、工作機械を中心とした製造プロセスの変革をMX（マシニング・トランスフォーメーション）と提唱している。

JIMTOF2024では、東京ビッグサイト・東8ホールに最大ブースを確保し、会場での進化の成果を披露・提案する。

刃物台は、パワフルなミリング能力のBMTを搭載し、従来はマシン

場（東ホール）では、太陽

DMG森精機（グローバル本社）東京江東区、森雅彦社長では、工程集約、自動化を通じたGX（グリーン・トランスフォーメーション）を実現し、その一連の流れをDX（デジタル・トランスフォーメーション）で加速する、工作機械を中心とした製造プロセスの変革をMX（マシニング・トランスフォーメーション）と提唱している。

JIMTOF2024では、東京ビッグサイト・東8ホールに最大ブースを確保し、会場での進化の成果を披露・提案する。

刃物台は、パワフルなミリング能力のBMTを搭載し、従来はマシン

場（東ホール）では、太陽

工程集約・自動化・DX・GX—『MX』提唱の成果を披露、提案

特別併設展で日本初出展のAM機で実演加工



▲東京GHQでのオープンハウスはJIMTOF2022会期中にも併催し大盛況だった

東京GHQと連動オープンハウス同時開催

工場やマグネスケール、そして、グループ加入後の新製品となる横中ぐりフライス盤を参考出品するDMG MORI Precision Boring

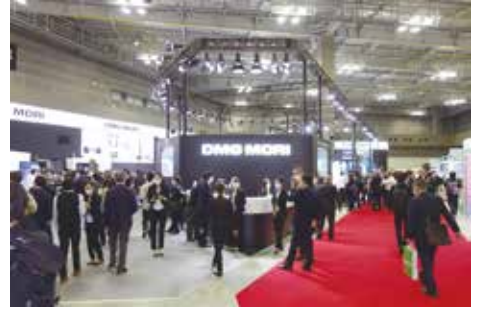
DXでは、加工プロセスを最適化するデジタルソリューションをアピールすることに、CO2排出量の削減や再生可能エネルギーの使用により、持続可能な資源循環型社会の実現をサポート

工場やマグネスケール、そして、グループ加入後の新製品となる横中ぐりフライス盤を参考出品するDMG MORI Precision Boring

DXでは、加工プロセスを最適化するデジタルソリューションをアピールすることに、CO2排出量の削減や再生可能エネルギーの使用により、持続可能な資源循環型社会の実現をサポート

工場やマグネスケール、そして、グループ加入後の新製品となる横中ぐりフライス盤を参考出品するDMG MORI Precision Boring

JIMTOF2024 DMG MORI



▲前回JIMTOF2022でのDMG MORIブースの光景

自動化では、高い静的・動的・空間精度を実現する、DMG MORI史上最高の5軸横形MC『INH63』と既存の横形MCと組み合わせた自動化システムを実演する。

工場やマグネスケール、そして、グループ加入後の新製品となる横中ぐりフライス盤を参考出品するDMG MORI Precision Boring

自動化では、高い静的・動的・空間精度を実現する、DMG MORI史上最高の5軸横形MC『INH63』と既存の横形MCと組み合わせた自動化システムを実演する。

工場やマグネスケール、そして、グループ加入後の新製品となる横中ぐりフライス盤を参考出品するDMG MORI Precision Boring

自動化では、高い静的・動的・空間精度を実現する、DMG MORI史上最高の5軸横形MC『INH63』と既存の横形MCと組み合わせた自動化システムを実演する。

工場やマグネスケール、そして、グループ加入後の新製品となる横中ぐりフライス盤を参考出品するDMG MORI Precision Boring

ユーザーへの浸透具合感じる『ジニアスコートISA』

日本アイ・ティ・エフ

▲表面処理技術の総合展で「セラミックコーティング受託加工のパイオニア」をアピール

日本アイ・ティ・エフ（本社）東京都港区、森口秀樹社長は、9月18〜20日に東京ビッグサイトで開催された「表面改質展2024」に出展し、存在感を発揮した。

同社では、アルミ、各種メッキ加工用金型DLC、鉄系加工用AICrN系コーティング等の豊富なラインナップを見どころとし、中でも、AICrN系超多層膜『ISA』について、「お客様からの反響もあり、ぜひ試作してみたい」という「浸透具合」が見てとれる。さらに時間をかけて広めていく活動に徹したい（ブース営業担当）との声が拾えた。

ジニアスコートISAは、20〜60HRCの幅広いワーク材質に対応可能なAICrN系コーティング。高温耐摩耗性、耐熱衝撃性に優れるSUS、鋼材の過酷な加工に最適であり、除膜による金型再生が可能（鋼材のみ対応可）。主な特長は次の通り。

▽2種類の化合物を数百層重ね合わせた超多層構造膜▽耐食性+耐焼付き性+耐熱性+耐熱衝撃性に高耐摩耗性を実現▽金型や工具の長寿命化を実現。

また、ドリル穴あけ加工においては、超硬ドリルD11.8・0油穴付きを切削サンプルに、他社AICrN系コーティングが950穴折損、他社B・AICrN系2層コーティングが958穴折損に対し、ISAコートは1071穴継続加工可能との適用事例が得られ、500穴加工後では、A社品はマージンに摩耗、B社品はマージンに微小な欠損とシニング部の溶着が確認されている。

日本アイ・ティ・エフ（本社）東京都港区、森口秀樹社長は、9月18〜20日に東京ビッグサイトで開催された「表面改質展2024」に出展し、存在感を発揮した。

同社では、アルミ、各種メッキ加工用金型DLC、鉄系加工用AICrN系コーティング等の豊富なラインナップを見どころとし、中でも、AICrN系超多層膜『ISA』について、「お客様からの反響もあり、ぜひ試作してみたい」という「浸透具合」が見てとれる。さらに時間をかけて広めていく活動に徹したい（ブース営業担当）との声が拾えた。

ジニアスコートISAは、20〜60HRCの幅広いワーク材質に対応可能なAICrN系コーティング。高温耐摩耗性、耐熱衝撃性に優れるSUS、鋼材の過酷な加工に最適であり、除膜による金型再生が可能（鋼材のみ対応可）。主な特長は次の通り。

▽2種類の化合物を数百層重ね合わせた超多層構造膜▽耐食性+耐焼付き性+耐熱性+耐熱衝撃性に高耐摩耗性を実現▽金型や工具の長寿命化を実現。

また、ドリル穴あけ加工においては、超硬ドリルD11.8・0油穴付きを切削サンプルに、他社AICrN系コーティングが950穴折損、他社B・AICrN系2層コーティングが958穴折損に対し、ISAコートは1071穴継続加工可能との適用事例が得られ、500穴加工後では、A社品はマージンに摩耗、B社品はマージンに微小な欠損とシニング部の溶着が確認されている。

日本アイ・ティ・エフ（本社）東京都港区、森口秀樹社長は、9月18〜20日に東京ビッグサイトで開催された「表面改質展2024」に出展し、存在感を発揮した。

同社では、アルミ、各種メッキ加工用金型DLC、鉄系加工用AICrN系コーティング等の豊富なラインナップを見どころとし、中でも、AICrN系超多層膜『ISA』について、「お客様からの反響もあり、ぜひ試作してみたい」という「浸透具合」が見てとれる。さらに時間をかけて広めていく活動に徹したい（ブース営業担当）との声が拾えた。

ジニアスコートISAは、20〜60HRCの幅広いワーク材質に対応可能なAICrN系コーティング。高温耐摩耗性、耐熱衝撃性に優れるSUS、鋼材の過酷な加工に最適であり、除膜による金型再生が可能（鋼材のみ対応可）。主な特長は次の通り。

▽2種類の化合物を数百層重ね合わせた超多層構造膜▽耐食性+耐焼付き性+耐熱性+耐熱衝撃性に高耐摩耗性を実現▽金型や工具の長寿命化を実現。

また、ドリル穴あけ加工においては、超硬ドリルD11.8・0油穴付きを切削サンプルに、他社AICrN系コーティングが950穴折損、他社B・AICrN系2層コーティングが958穴折損に対し、ISAコートは1071穴継続加工可能との適用事例が得られ、500穴加工後では、A社品はマージンに摩耗、B社品はマージンに微小な欠損とシニング部の溶着が確認されている。

産業・工業・機械
基板用硝子

耐熱用硝子
電子用硝子
石英硝子

光学研磨硝子
バイレックス
バイコール

平岡特殊硝子製作株式会社

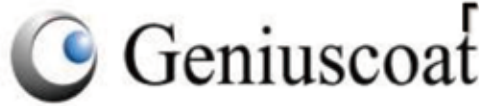
〒550-0013 大阪市西区新町4-7-8
TEL: 06-6531-2505 FAX: 06-6538-2225

製品・技術が一堂に集結する特別併設展（AMエリア）では、日本初出展となる『LASERTEC 30 SLM 3rd Generation』で実演加工を行い、多彩な加工ワークを展示し、具体的な事例を紹介する。

（小間番号：E800L）

ユーザー通信オンライン
<https://ut-net.jp>

紙面掲載以外の記事はこちらで！



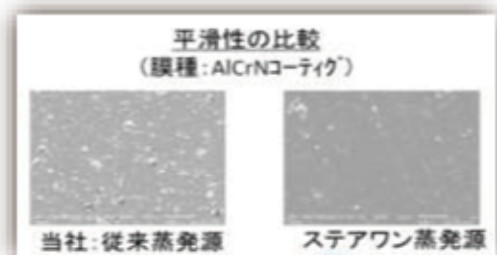
「ジニアスコート」は私たち日本ITFのセラミックコーティングの総称です。

お客様に最高の満足をいただくため、コーティング膜のシリーズ化、ラインアップの充実をはかり、ジニアスコートの可能性、技術信じ、ベストパフォーマンスとソリューションをご提供いたします。

【超多層AICrN系コーティング ジニアスコートISA】

☆ステアワン蒸発源搭載設備により、優れた平滑性を実現！

- 歯切工具（ホブ、ブレード等）、ドリル・エンドミル向けの高硬度＋高耐熱性コーティング膜！
- 20〜60HRCの幅広い被削材に対応可能！
- ウェット加工、ドライ加工、高速切削などあらゆる加工環境に対応！
- プレス金型用途としては、現在丸パンチ形状のみ対応可能！（詳細はお問い合わせ下さい）



【超多層高硬度クロム系コーティング ジニアスコートIAX】

☆耐熱用途、過酷な加工用途に最適！

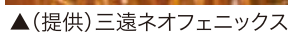
- 金型の耐食性+耐焼付き性+耐熱性+耐熱衝撃性にさらに高い耐摩耗性を実現！
- 独自技術のナノレベルの積層＝超多層構造にて亀裂伝播抑制！
- 高温用途（ダイカスト、熱間プレス）に！
- SUS、鋼材の過酷な加工用途に！



金型向けIAXは本社・前橋工場で処理可能です。

日本アイ・ティ・エフ株式会社
薄膜技術で未来を拓くソリューションカンパニー

【本社】〒601-8205 京都市南区久世殿城町575番地
TEL: 075-931-6282 FAX: 075-931-6166
【前橋工場】〒371-8515 前橋市総社町総社2121番地
TEL: 027-280-4563 FAX: 027-280-4737
<http://www.nippon-itf.co.jp>



短縮、工具の発注・管理のDX化が可能。

さらに同社では、長年培ってきた工具設計のノウハウとコーティング技術を最大限に活かし、「再研磨・再コーティング」をOSGグループ会社で対応するため、一括受け入れ、一貫対応が可能であり、省資源化と地球環境の保護活動へ貢献する。

JIMTOF 2024
2024年11月5日(水)→11月10日(日)
小間番号W1017



GREEN TAP

オーエスジー独自の 新製法で開発された 革新的な転造タップGRT

新製法による特殊ねじ部仕様（PAT.P）で
耐折損性・刃先強度が向上。

製造時の消費電力量を削減することで
CO₂排出量を約50%カットします。

オーエスジーは環境に配慮した製品を
提供することで、持続可能な社会の
実現に貢献します。

その他、最新技術を多数展示します。ぜひお越しください！

JIMTOF 2024 西1ホールW1020

オーエスジー株式会社

〈工具の技術的なご相談は…〉コミュニケーションダイヤル

0120-41-5981 土日祝日、
会社休日を除く

コミュニケーション FAX 0533-82-1134 コミュニケーション E-mail hp-info@osg.co.jp



新